

## スカパーJSATグループ 2022年度下半期番組審議会（議事要旨）

（スカパーJSAT 第39回、スカパー・エンターテイメント第32回）

開催年月日：2023年2月22日（水）

開催方式：リモート形式での集合開催

出席者

（審議委員）

委員数：7名 /出席委員数：7名

審議委員長：高畑 文雄

委員：二宮 清純

委員：山本 浩二

委員：草野 満代

委員：田中 里沙

委員：安田 洋祐

委員：マッコイ 齊藤

（スカパーJSATグループ）

米倉 英一：スカパーJSAT(株) 代表取締役 執行役員社長

小川 正人：スカパーJSAT(株) 取締役 執行役員専務 メディア事業部門長

手塚 久：スカパーJSAT(株) 執行役員 メディア事業部門長代行

奥永 孝仁：(株)スカパー・エンターテイメント 代表取締役社長

明石 静：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 コンテンツ事業部長

（報告者）

川原崎 紘史：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 コンテンツ事業部 エンタメチーム

佐藤 一軌：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 コンテンツ事業部 スポーツ第1チーム

奥永 孝仁：(株)スカパー・エンターテイメント 代表取締役社長

（陪席）

松元 圭：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 コンテンツ事業部 エンタメチーム長

加藤 大：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 コンテンツ事業部 スポーツ第1チーム長

相良 美恵：(株)スカパー・エンターテイメント 放送推進部長

（事務局）

田井 達夫：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 コンテンツ事業部 部長代行

山田 巳奈 / 西田 美紅 / 岩倉 俊樹：同 コンテンツ事業部

## <番組審議>

審議番組 (1) 『FULL CHORUS～音楽は、フルコーラス～一夜限りの大復活スペシャル!』

報告者：川原崎 紘史

### ◆放送概要

放送日：2021年10月28日（金）3時間の特番として放送

放送チャンネル：BSスカパー！

配信：スカパー！番組配信

### ◆番組概要

2015年3月～2019年6月まで、BSスカパー！でレギュラー放送していた音楽番組「FULL CHORUS～音楽は、フルコーラス～」を一夜限りで復活。過去放送回の貴重映像や、番組ゆかりの人々からのコメントとともに、四組のアーティストがスタジオでフル尺のパフォーマンスを繰り広げる。

【出演者】

MC：ベッキー／ハマ・オカモト（OKAMOTO'S）

モーニング娘。'22／OKAMOTO'S／Juice=Juice／吉澤嘉代子

### ◆番組企画意図

2022年10月末日をもって閉局するBSスカパー！で放送できる最後の機会に、かつて番組を愛してくれた視聴者に向けて、また「ハロー！プロジェクト」ファンにも刺さるよう制作し、スカパー！の契約者増と満足度向上を目指す。

### ◆審議委員会からのご意見

- 総合的な演出やキャスティングやセットも含め、豪華さの中にも心地好さを感じるクオリティの高い番組に仕上がっている。
  - タイムパフォーマンス偏重の文化になってしまっている中、最後まで聴かせる、全部見せることで、テレビに向き合う楽しさを改めて感じさせてくれた。
  - 1アーティストあたりたっぷりトークの時間を取り、それでも全然飽きることなく、もっと時間を増やしても欲しいと思わせるほど洒落で面白い。
  - MCの番組をリードもすばらしく、二人のコンビネーションも非常に良かった。またディレクターの演出も絶妙で、ユニットの一人一人を輝かせる愛情のある視点に繋がっている。
  - アーティストのエピソードトークからは、クリエイティブな人の思考回路や発想力の源泉を聞いて刺激的。
  - 音楽をきちんと聴くことの魅力を再認識。十分にトークし、フルコーラス聴ける番組の造りは、これまでにない独特の世界観を構築したと感じる。
- ➔ 頂戴したお褒めのお言葉と、貴重なご意見を制作に反映し、今後もファンの方により喜ばれる番組作りに邁進させていただきます。

## 審議番組（2）『BASE』

報告者：佐藤 一軌

### ◆放送概要

放送日時：2022年9月18日（日）#1放送開始

放送チャンネル：スポーツライブ+

配信：スカパー！番組配信

### ◆番組概要

今年で18回目を迎える「NBP ジュニアトーナメント 2022」に出場する「ホークスジュニア」の結団から解散までに密着したドキュメンタリー、全三話。2009年以来的本大会優勝を目指すチームの成長の軌跡。

#### 【出演者】

「ホークスジュニア」の選手16名及び関係者

### ◆番組企画意図

ホークス球団から打診のあった「ホークスジュニア」のブランド力強化が、プロ野球の来場者を増やす、野球普及活動の促進、野球界への還元、ホークスファンを増やす、とのスカパー！プロ野球の理念に合致した取り組みと判断。ひいては加入者増にも繋がることを見据え、番組制作を決定した。

### ◆審議委員からのご意見

- ホークスの育成の注力点が可視化できたことは良い。子どもたちの目標にもなり、夢を持てる番組になっている。
  - 選考に漏れた564人の子どもたちのその後が気になる。より大勢にふれる視点も必要。
  - 選手たちの「顔」が分からなかった。肩書きを付ける等で、キャラクターを立たせることができたと思う。
  - 編集やナレーションに更に工夫が必要。撮れていない画もあり、ドキュメンタリーとは言え、多少の演出があっても良いのではないか。また、テーマ曲等を決めることでより格好がつくのでは。
  - #3 と言え、基礎情報が無いので番組にすんなり入り込めない。ジュニアの組織図、ピラミッドを見せるだけでも、相当分かり易くなったのではないか。
  - 権利の問題はあるかもしれないが、実際の試合映像を見たかった。選手たちをより理解できる要素になると思う。
  - ジュニア選手にフォーカスとの、面白いアイデアに基づいた新しい番組。今後、他球団への横展開も考えられ、伸びしろがある。
  - 野球が楽しいものと思わせる切り口が欲しかった。それが一つでも番組の中であればより良かった。
  - コンセプトは充実していると感じる。対象層が明確で、絞り込んだセグメントへの番組なので、野球を通した子どもと親や地域の成長を実感させてくれる。
- ➡ 大変貴重なご意見をいただき感謝いたしますとともに、いただいたご意見をもとに、さらに楽しめる番組にしていこう努力してまいります。

<報告事項>

スカパー・エンターテインメントの番組審議について

報告者：奥永 孝仁

<報告内容>

(株)スカパー・エンターテインメントでは、衛星基幹放送事業者として、2Kの6チャンネル、4Kの8チャンネル、合計14チャンネルを110度上で、また一般放送事業者として計137チャンネルを運営。

2019年上期より内規・判断基準を明確化。LEVEL1「様子見」、LEVEL2「要注意」は対応不要、LEVEL3「要対応」は放送を見合わせる等の対応をとるべきとの基準を策定し、番組供給事業者へも説明をしている。

前回番組審議会後に対応した考査事例について報告。

グループ内でのコンプライアンス対応については、コンテンツ事業部内で番組とCMの考査を実施。案件発生の場合は、対応案を作成、考査相談役とも話し合いののち、総責任者が最終決定をし、放送事業者や権利元等々への対応を図る運営を行っている。

また、スポンサー持ち込み案件や番組配信についても考査を行った。

以上